

施策評価票

第6章 人を育むまち

- | | |
|-------|------------------|
| 施策目標1 | 豊かな人生を送れる生涯学習の推進 |
| 施策目標2 | 幼児教育の充実 |
| 施策目標3 | 学校教育の充実 |
| 施策目標4 | 家庭と地域で育む教育の推進 |
| 施策目標5 | 社会教育の充実と活性化 |
| 施策目標6 | 元気あふれる市民スポーツの振興 |

進捗状況

A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

施策目標1 豊かな人生を送れる生涯学習の推進

全ての市民が生涯にわたって自己実現を目指し学び続けられる環境づくりと、その成果を地域社会の中で発揮していくことができる仕組みづくりを進めるため、市民一人一人が、一層、学習活動に取り組むことのできるよう、社会教育計画及び生涯学習推進プランに基づき、学習機会の拡充や学習環境の整備、情報の発信等を推進します。

また、囲碁を通じて人と人とのコミュニケーションを深め、心豊かに生きることができるとまちづくりを進めるため、囲碁の普及啓発活動、各種大会やイベントの開催などによりアルプス囲碁村づくりを推進します。

【生涯各期にわたる学習機会の充実】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
ライフステージに応じた学習機会の充実	○乳幼児期から高齢期の段階に合わせた学習機会の提供と教育機能の充実	生涯学習課	親子教室、自然体験学習講座、子育てセミナーなど生涯各期における学習ニーズに応じた事業の展開に心がけている。異なる年代・世代間の交流も図りながら各社会教育施設における多様な学習機会の充実に努める。	B (H28:B)

【市民の学習ニーズに応える学習機会の提供】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
豊かな人生を送れるための学習支援	○市民が自発的に行う学習機会の充実	生涯学習課	地域住民の声を聴く聞く場を設け、より多くの意見を取り入れながら、活動していく必要がある。 公民館講座受講生が講座終了後自主的な活動に移行できるよう支援する。	B (H28:B)
社会変化に対応した学習機会の充実	○県、近隣市町村、各種教育機関との連携による専門的な学習機会の充実 ○社会変化や時代潮流に応じた学習機会の充実		生涯学習推進センターの講座等に積極的に参加し、社会変化やその時代に応じた情報を得ながら、地域の活動に生かしていく。 住民の学習意欲、意向の確認を行い、社会教育の本来の目的である、地域課題に関する学習の機会を設ける。	C (H28:C)

【生涯学習推進体制の整備・充実】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
学習施設の充実と活用	○地域学習活動の拠点施設の充実と活用	生涯学習課	各社会教育施設の適正な維持管理を図る。各社会教育施設における各種講座等の実施により、施設を身近に感じていただき、積極的な施設利用を促進する。	B (H28:B)
情報提供の充実	○学習情報の積極的な提供 ◆学習情報誌の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・がったつうしんを年4回発行し、青少年の学習活動の情報を提供している。 ・広報紙や市ホームページを活用し、公民館講座やサークル体験などの情報提供を行っている。 	B (H28:B)
生涯学習グループの育成と支援	○生涯学習を実施するグループや団体の育成と支援		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座修了後サークルとして継続的な活動を行うよう誘導している。 ・継続的な活動を行う生涯学習団体に対して、社会教育施設における活動の場の優先使用、使用料の減免などを行うほか、サークル体験の推進による支援を行っているが、会員が年々減少しているサークルも少なくない。 	C (H28:C)
指導者の育成	○地域の優れた知識技能を持つ人材の発掘と、学習指導者としての育成 ○地域ボランティアなどの育成 ○リーダーバンク制度の活用の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・各社会教育施設において、地域の優れた技能、知識を持つ人材の確認に努め、公民館講座等の講師として積極的に活動していただく。また、整備したリーダーバンク制度の活用を図り、多様な学習活動を促進する。 ・新たな学習指導者の発掘は困難であり、リーダーバンクへの登録者は増えていないが、コミュニティスクールでの校外指導者を育成する必要があることから新たな視点で取り組む。 ・小中学生と福祉施設利用者との交流会 	B (H28:B)

		を開催し、ボランティア意識のさらなる向上を図っている。	
学習成果の活用	○学習成果の発表等、情報提供の推進	市文化祭、地区文化祭、サークル活動発表展示会を開催しているが、年々、参加作品が減少傾向にある。	B (H28:B)
総合的な推進体制の強化	○市民や地域、学校、各種団体、民間事業者等と連携した推進体制の強化	自治会、学校、地域づくり会議、地区社協、子ども会育成協議会などと連携し、各種行事などを展開していく必要がある。全ての義務教育学校がコミュニティースクールになったことから、学校を中心とした学習活動の連携を進めていく。	B (H28:B)

【アルプス囲碁村づくり】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
アルプス囲碁村づくり	○アルプス囲碁村計画に基づく各種大会・イベントの開催と支援 ○子どもたちを対象とした囲碁の普及啓発活動の推進 ◆今後の推進方法と体制の検討 ◆囲碁を通じた交流と人づくり	企画財政課	囲碁普及員による普及啓発事業や囲碁村まつり等のイベント・交流事業を柱に囲碁を通じたひとづくり、まちづくりに取り組んでいる。	B (H28:B)

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H28数値	課題等
生涯学習リーダーバンク登録者数	130人	140人	生涯学習課	82人	利用状況が低いので、制度の広報に努め、活用の向上を図ることが必要である。また登録者・団体の募集は随時行う。
囲碁普及員による囲碁指導受講者数	7,002人	10,000人	企画財政課	4,258人	少子化による児童・園児数の減少 園児から児童への継続的な普及体制の推進

□市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
生涯学習の場や機会の充実に満足していると思う市民の割合	68.1%	80.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
アルプス囲碁村推進事業	12136	アルプス囲碁村推進事業	企画財政課
—	110412	社会教育総務一般経費	生涯学習課
—	110413	社会教育施設運営管理費	
—	110416	生涯学習推進事業	
—	110433	大町公民館活動費	
—	110435	平公民館活動費	
—	110437	常盤公民活動費	
—	110439	社公民館活動費	
—	1104311	八坂公民館活動費	
—	1104313	美麻公民館活動費	

施策目標2 幼児教育の充実

近年、発達障がい児の増加や子どもへの虐待、育児放棄などが社会問題となっています。

そのため、保健、医療、福祉分野や幼稚園、保育園との連携により、次世代を担う子どもたちを守り育て支援する子育てネットワークの構築など、幼児教育の充実に向けた環境整備を推進します。

【教育環境の整備】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
相談事業の充実	○保健、医療、福祉等との連携による発達障がい等の育児・幼児教育相談の充実	学校教育課	教育支援の充実を図るため、幼保小連絡会、教育支援委員会、教育相談等を開催している。	A (H28:A)
		子育て支援課	5歳児発達相談（年中及び保護者を対象とした発達相談）、児童心理発達専門員による保育園等の巡回相談、児童発達支援事業所への通所決定、生活技能訓練教室を児童発達支援事業所に委託し実施するなど、相談事業の充実に努めている。	B (H28:B)
就園支援の充実	○幼稚園児保護者の負担軽減の支援	子育て支援課	平成27年4月から子ども・子育て支援新制度に移行し所得状況に応じた負担へ見直しが行われた。今後も多子世帯、要保護世帯の減免について拡充を図る必要がある。	B (H28:B)
幼稚園・保育園・認定子ども園の役割と連携	○幼稚園、保育園、認定子ども園の役割と連携の検討	学校教育課	関係者の連携を図るため、幼・保懇談会を開催し情報交換を実施	A (H28:B)
		子育て支援課	認定こども園、幼稚園との連絡会を開催し情報共有を図る。	B (H28:B)

【幼稚園の充実】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
幼稚園経営への支援	○幼稚園を経営する法人等への助成	子育て支援課	平成27年度に施行された子ども・子育て支援新制度による施設型給付による支援を継続する。今後、老朽化に伴う施設整備の支援について検討が必要。	B (H28:B)

□市民意識調査（再掲）

調 査 項 目	基準値	目標値
保育などの子育て支援サービスに満足していると思う市民の割合	59.5%	75.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
—	13215	幼稚園・認定こども園運営支援事業	子育て支援課
—	13219	療育事業	

施策目標3 学校教育の充実

少子高齢社会の進行と、国際化、高度情報化の進展など、社会情勢の変化とともに、学力・体力の向上、不登校児童・生徒への支援、心身に障害を持つ児童生徒に対する特別支援体制の充実などが課題となっています。

新学習指導要領基本理念の生きる力を育むに基づき、知識や技能の習得と、思考力・判断力の育成、道徳や体育の充実による豊かな心と健やかな体の育成に向けた取り組みを進めます。

大町高校と大町北高校の統合に向け、魅力ある高校づくりが進められるよう、地域からの意見集約に努めるほか、少子化を見据えた学校運営の将来ビジョンについても検討を進めます。

【学ぶ力の育成】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
基礎学力の定着と学力・体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導の充実 ◆30人規模学級、少人数による学習集団指導、習熟度別学習、チームティーチング等の推進 ◆基礎学力を向上させる取り組みの推進 ◆社会性の確立と基礎体力向上の推進 	生涯学習課	元気アップ推進事業を更に推進し、児童生徒の基礎体力向上に努める。	B (H28:B)
		学校教育課	<p>個に応じたきめ細やかな指導の充実に努める。</p> <p>中学校にも30人規模学級が取り入れられ、小・中すべての学校で少人数による指導が実現。</p> <p>全小中学校で全国学力テストを実施し県教委の指導の下、自校採点を行い授業改善に結びつけている。全国と比較しても良好な結果となっている。</p> <p>児童・生徒の体力向上に向けた取組の指針に基づき、生活習慣の改善や、大学と連携した元気アップ事業をモデルとした取り組みを一層推進する。また、すべての学校で体力テストを実施し、継続的にデータをチェック、検証しながら、課題にあった体力づくりを実施する。</p>	B (H28:B)

<p>時代の変化に対応した教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○情報教育の充実と推進 ○外国語指導助手の配置・派遣 ○小中学校の国際交流の推進 	<p>SNS や情報機器の普及により情報モラルへの指導がさらに必要である 市内中学校2校を拠点都市にALTを配置し、小学校の外国語活動にも派遣している。 国際交流は美麻小中以外での具体的な活動は、進展していない。 (美麻)メンドシーノとの国際交流をさらに推進する。</p>	<p style="text-align: center;">B (H28:B)</p>
<p>地域を担う人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉、環境、奉仕活動、職場体験などによる職業体験学習の推進 	<p>市キャリア教育推進協議会を設置し児童・生徒の社会的、職業的自立に向け必要な能力や態度を育てる教育を推進している。職業体験受入先の発掘等拡充が必要である。</p>	<p style="text-align: center;">B (H28:B)</p>
<p>特色ある学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○あいうえおおまちさくらプランの実践 ○問題解決学習を中核においた総合学習の推進 ○地域との交流、郷土の自然・文化を素材とした学習を通じ郷土理解と郷土愛の醸成 ○山村留学生との交流による、郷土の魅力を発見する教育の推進 ○学校を核とした特色ある地域づくりの推進 	<p>大町市の子どもの健やかな成長を願って共通して実践して行くプラン「きらりおおまちサンプラン」の推進に努めた。継続した取り組みを図りたい。 学年または学級毎に学習の柱を立て実践。また、美麻小中の義務教育学校への移行など、特色を生かした取り組みが進められ、総合的な学習に地域との連携が進んでいる。 山村留学は、受入農家の減少という課題もあるが、地域一体となって取り組みを進めている。 学校、保護者、地域が連携して学校運営に参加するコミュニティ・スクールの導入を推進し、地域とともにある学校づくりを進めている。 学校ごと、お米作りや伝統工芸など、地域に根ざした学習を取り入れている。</p>	<p style="text-align: center;">A (H28:A)</p>

【豊かな心と健やかな体を育む教育の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
不登校等の悩みを抱える子どもへの支援	<p>○さまざまな悩みや課題について早期発見と早期対応に向けたスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と福祉等の関係機関との連携強化</p> <p>○学校が一丸となった課題の解決と、家庭と地域が連携した指導の推進</p> <p>○登校支援指導員・小中学校への心の教室相談員の配置による就学支援に向けた取り組みの推進</p> <p>○アルプスの家への適応指導員の配置による支援体制の充実</p>	学校教育課	<p>児童・生徒のさまざまな悩みや相談に的確に対応できるようスクールカウンセラー2名配置し、定期的に市内小中学校を訪問している。</p> <p>全教職員が情報を共有するとともに、連携を図りながら、組織として対応を進める。</p> <p>福祉、医療等の関係機関と連携し、家庭へ細やかな支援に取り組んでいる。</p> <p>個別指導を原則に、個に応じた支援体制が組まれている。</p>	B (H28:A)
道徳教育・人権教育の推進	<p>○いじめ等の根絶に向けた取り組みの強化</p> <p>◆道徳的な心情・判断力・実践意欲など道徳性の醸成</p> <p>○人権や男女共同参画の視点での意識啓発</p>	生涯学習課	<p>地区人権を考える市民の集いを学校で開催し、児童生徒の人権に対する意識向上が図られている。</p>	B (H28:A)
病弱児童生徒への教育	○病弱児童生徒の院内学級の対応	学校教育課	対象児童・生徒がいないため閉鎖。	— (H28:—)
学校給食の充実	◆学校給食における食育、地場産物の活用及び給食の安全・安心・安定の確保の推進		<p>「食」に関する学習を栄養教諭や栄養士が中心になり実践するとともに充実を図っている。</p> <p>市独自による給食用食材放射性物質検査による給食の安全を図っている。</p> <p>地産地消の取り組みを更に推進する</p>	A (H28:B)

	為、農家やJAとの検討を進める。
--	------------------

【多様な教育的ニーズのある子どもたちへの支援】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
特別支援教育体制の充実	○心身に障がいを持つ児童生徒に対する特別支援体制の整備 ○教職員の確保と指導力の向上	学校教育課	特別支援教育補助指導員の配置等、特別支援教育の充実によって、個に応じた支援体制の充実に努めている。	B (H28:B)
心身障がい児就学相談の充実	◆関係課と連携した発達障がい児の早期発見 ○就学相談委員会の充実		子育て支援課との連携や専門家による巡回相談や就学相談の充実によって、早期発見・早期療育への体制が整ってきている。	A (H28:A)
外国籍児童生徒に対する教育の充実	○外国籍児童生徒に対する日本語指導の充実		日本語への通訳や指導を必要とする児童・生徒が少ない。教室の開設、指導員の配置は難しいが、必要に応じて、通訳ボランティアを依頼し、対応している。	B (H28:B)

【地域に開かれた学校づくり】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
学校・家庭・地域の連携	○学社融合事業等の推進、地域に開かれた学校づくりの推進、学校、家庭、地域の連携強化	学校教育課	協働しながら子どもたちの成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進めている。 学校、保護者、地域が連携して学校運営に参加するコミュニティ・スクールとしてすべての市立学校を指定し、地域に開かれ、地域と一体となった学校づくりを一層推進する。	A (H28:A)

【教育環境の整備】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
施設の充実	○大町東小学校の耐震大規模改修の実施 ◆小中学校の体育館等大規模天井の耐震化の実施	学校教育課	平成 25 年度から平成 27 年度までの3年間で、対象となる6校の体育館を	B (H28:A)

	○小中学校施設改修の検討及び実施	計画的に実施済。 特に小学校は老朽化が著しく、大規模な改修が必要であることから、大町市のファシリティマネジメントのなかで改修計画の策定と財源確保を検討していく。	
設備・機材の充実	○教育環境の充実を図るため設備、機材等の整備の推進	ITC を活用した教育の充実のため必要な設備の整備に努めた。限られた予算の中で、補助事業の確保やリースなどを活用し、整備を推進する。	A (H28:B)
就学支援の充実	○就学費助成の実施	経済的理由により就学困難な状況に陥ることのないよう、関係機関と連携し就学援助事業を実施している。	A (H28:A)
通学の安全確保	◆おおまち子ども安心・安全マップの周知と活用 ○スクールバスの運行	危険箇所等をホームページでの公開し、周知・活用を進めるとともに、小学校区ごとの子どもの安全を守る地域連絡会の活動の継続による、関係機関が連携した取り組みを推進する。 また、道路管理者及び警察署と連携した「大町市通学路安全推進会議」を設置し、「大町市通学路交通安全プログラム」を策定。今後も継続し取り組みを進める。 必要に応じ、臨時運行など柔軟に対応し、安全な通学の確保に努めている。 遠距離通学児童生徒の安全確保のため、登下校における通学手段の確保、課外活動・校外活動の充実を図るうえで必要不可欠である。	A (H28:A)

【高等教育の充実】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
魅力ある地域高校づくりの促進	○大町高校と大町北高校の再編統合における魅力ある高校づくりのための地域をあげた協力と支援 ○新たな高校が生徒の多様な夢や希望を叶え、幅広い人間形成を行える教育カリキュラムの実現	学校教育課	中学生による体験入学や、市内中学との交流会などの取り組みを行うとともに中高連携職員の配置している。 キャリア教育を中心に、小・中・高が連携した教育カリキュラムの作成が必要である。	B (H28:B)
就学支援の充実	○私立高等学校就学生徒への奨学助成の実施 ○高校、大学、専門学校等に就学する学生に対する奨学金制度の充実		保護者の経済的負担軽減のため、私立高校生奨学補助事業を実施している。 市独自の奨学金制度を実施し、経済的な支援を実施している。	A (H28:A)

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H28数値	課題等
不登校の児童生徒の在籍率	0.97%	0.77%	学校教育課	1.80%	中学生の比率増
小中学校の耐震化率	88.0%	100.0%	学校教育課	100%	
大規模天井（小中学校非構造部材）の耐震化率	33.0%	100.0%	学校教育課	100%	

□市民意識調査

調 査 項 目	基準値	目標値
学校教育環境に満足していると思う市民の割合	70.0%	80.0%
地域に向け開かれ、地域と連携した学校運営がなされていると思う市民の割合	62.9%	75.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
—	10417	人権教育推進事業費	生涯学習課
—	104313	美麻公民館活動費	
—	115112	事務局一般経費	学校教育課
教員住宅整備事業	110125	教員住宅管理事業	

山村留学事業	110128	山村留学事業	生涯学習課
コミュニティスクール推進事業	1101210	コミュニティスクール推進事業	学校教育課
ICT活用推進事業	1101211	ICT活用推進事業	
—	110212	小学校管理一般経費	
小学校大規模改造質的整備事業	110213	小学校施設営繕費	
地産地消推進補助事業	110214	小学校負担金	
学習支援員等配置事業	110221	小学校教育振興一般経費	学校教育課
総合教育相談員等配置事業			
入学お祝い事業			
—	110222	小学校教育振興扶助費	
—	110223	スクールバス等運行事業	
—	110311	中学校管理一般経費	
—	110312	中学校施設営繕費	
—	110313	中学校負担金	
中学校英語指導助手（ALT）配置事業	110321	中学校教育振興一般経費	
—	110322	中学校教育振興扶助費	
学校給食施設環境整備事業	110532	学校給食費	
—	110533	八坂小中学校給食費	

施策目標4 家庭と地域で育む教育の推進

近年は、家庭状況に応じた柔軟な支援が求められるとともに、少子化の進行に伴い、地域の行事等の縮小や存亡が危惧されるなど、子どもたちの多様な人々との交流や体験により育まれてきた地域社会との係わりが減少している傾向にあります。

そのため、将来を担う子どもたちの健全育成に向け、リーダーの育成と情報の発信、家庭と地域、学校、行政との連携により地域一体となって家庭における教育力の向上や、地域における支援体制の強化に向けた取り組みを推進します。

【家庭教育の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
家庭教育力の向上	○保護者に対する学習機会の充実、情報提供、相談体制や交流の場の整備	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・社地区では、心身ともに健やかでたくましいこの育成のために家庭教育懇談会を8地区で開催している。地域で生活する子どもたちの実態を踏まえながら家庭や地域での大人の関わり方について懇談会を持っている。この懇談会の他地区での開催を進める。 ・親子教室の開催により、親同士の情報交換や交流が図られている。 	B (H28:B)
親子・家族がふれあう場や機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○親子教室やふれあいイベントなどの充実 ○家庭の日の周知と取り組みの充実 		各公民館において親子教室を開催し、未就園児の親子のふれあいや親同士の交流や情報交換を目定期開催している。今後とも継続して、子育て支援の重要な事業として、受講者の希望に沿った講座を開催する。参加者の減少が課題。	B (H28:B)
家庭・学校・地域の連携による教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭、学校、地域の連携による環境づくりの推進 ○健康づくり、食習慣・生活のリズム等の向上をめざす食育の推進 ○地域行事や地域活動への参加促進等、地域ぐるみの支援体制の充実 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・市内6地区で子育てセミナーを開催し、地域、家庭、学校と一緒に健全育成や教育力向上の取組を行っている。参加者の興味を引く内容となるよう各地区の独自性を出し、実施している。 ・学校運営協議会に協力し、地域とともに歩む学校づくりを推進していく。 	B (H28:B)

		学校教育課	コミュニティ・スクールを活用した、地域等との連携により充実を図る。 食生活アンケートの実施や、結果に基づく食育指導を実施。	B (H28:B)
人権、男女共同参画への意識啓発	○人権や男女共同参画の視点による意識啓発の促進	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 人権を考える市民の集いは、6地区で開催しているが公民館による開催から学校との合同開催となったことにより地域と学校との連携が深まり、人権意識の啓発が進んだ。 男女共同参画学習会を開催し、啓発活動を行っている。毎年、参加者の減少が問題になっている。 	A (H28:B)
		まちづくり交流課	様々な分野の講演会、学習会を各地で開催しているが、公民館（生涯学習）との連携をより強化する必要がある。	B (H28:B)

【地域ぐるみの青少年育成】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
健全育成体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年問題に対応する相談・推進体制の整備充実、青少年育成指導者や青少年リーダーの養成 ○子どもの安全を守る地域連絡会等地域ぐるみの活動の推進 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> 少年、ジュニア、シニアリーダー研修会を開催しているが、各地区における発展につながらない状況も見られる。地区と市全域のリーダー研修会の連携や、リーダーの人材情報と活用場の提供を検討する必要がある。 子ども会育成協議会を組織し、各種事業に取り組んでいる。 交通安全少年団を組織し、交通安全について、街頭や学校で啓発活動を行っている。 	B (H28:B)

<p>健全育成事業の充実</p>	<p>○体験活動、感動体験、ボランティア活動や福祉活動、異年齢交流体験事業の推進 ○子ども会育成会等による健全育成事業の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動への支援として、育成会向けのバス利用「体験学習号」の運行を実施している。 ・子どもたちの生きる力を育むために、少年リーダー研修会を通じて自然体験学習等を開催している。 ・子どもたちの自主性や協調性を養うため、小学生のリーダー研修会を実施しているが、育成の成果はなかなか見えにくい。 ・子ども球技大会と駅伝大会を開催しているが、少子化等の影響により、駅伝大会の存続が難しくなっている。 ・地区の高校生が、ゴミ拾い等のボランティア活動や新聞の発行、お盆球技大会を開催しているが、対象者の減少により存続が難しくなっている。 	<p style="text-align: center;">B (H28:B)</p>
<p>社会環境浄化活動の充実</p>	<p>○非行防止・環境浄化活動、街頭補導活動、啓発活動等の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・補導委員により、56回の街頭補導活移動を実施しているが、補導委員の選出について、選出に苦慮している自治会もある。自治会推薦の限界も感じているため、市全域から積極的に携わる委員の選出も始めている。 ・各地域でのあいさつ運動や見守り活動を継続して実施していく。 	<p style="text-align: center;">B (H28:B)</p>

▼数値目標

目標項目	基準値	目標値	担当課	H28数値	課題等
家庭教育懇談会開催地区数	7地区	10地区	生涯学習課	8地区	社地区のみで行われているが、市全域に拡大していきたい。
子ども体験学習号利用団体数	13団体	20団体	生涯学習課	14団体	予算の範囲内で、多様な体験活動に活用していただいている。
ジュニア・シニアリーダー数	7人	10人	生涯学習課	11人	登録者数

□市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
地域ぐるみで非行防止や青少年健全育成に取り組んでいると思う市民の割合	67.3%	75.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
—	110417	人権教育推進事業	生涯学習課
—	110422	青少年育成事業	
—	110421	補導・環境浄化活動事業	
—	110433	大町公民館活動費	
—	110435	平公民館活動費	
—	110437	常盤公民館活動費	
—	110439	社公民館活動費	
—	1104311	八坂公民館活動費	
—	1104313	美麻公民館活動費	

施策目標5 社会教育の充実と活性化

職員の出張講座や公民館事業の充実などにより、多様化する市民ニーズに対応した学習機会の充実を図るとともに、図書館では、大町市子ども読書活動推進計画に基づく図書資料の充実をはじめ、高齢者の読書活動を支援するため、公民館活動と連携した出張講座の開設などの取り組みを推進します。

また、各種団体等との連携により、市民の社会教育活動を促進します。

【社会教育の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
多様な分野の学習活動の支援	○誰もが住み良い地域づくりをめざした多様な分野の学習機会の充実	生涯学習課	公民館講座では住民の要望に添った講座の開講に心がけ、いつでも、どこでも、たれにでも自由に学習できる公民館事業を推進し、学習期会の提供に努める。	B (H28:B)
新たな取り組みによる活性化	○社会教育施設、民間、各種機関等との連携による新たな事業展開の検討 ○社会教育施策の実施において、事業の評価・見直しを重ね、住民ニーズにあった事業の活性化の推進		大町市科学振興会を組織し、企業からの寄付をいただきながら、市内小中学校児童生徒の夏休みの一研究へ賞を授与している。 コミュニティースクールの開始により、学校と連携を取りながら社会教育事業を展開していく必要がある。	B (H28:B)
市政学習の推進	○社会教育の一環としての市政学習の推進 ○市民の市政に対する関心度と意識の高揚 ○あらゆる機会を通じた市政に関する学習会の開催 ◆市職員出張講座の充実と情報提供		職員出張講座は、メニューの見直しを行いながら、内容についても関係課と調整し、要望に応えている。	B (H28:B)
男女共同参画社会づくり	○平等意識の醸成と男女共同参画づくりの推進	生涯学習課	人権を考える市民の集いは6地区で開催しているが、公民館による開催から学校との共同開催とすることにより、地域と学校との連携が深まり、人権意識の啓発が進んだ。	B (H28:B)

			男女共同参画学習会を開催し、市民への啓発活動を行っているが、毎年参加者が減少傾向にあるため、今後の開催方法を検討する必要がある。	
		まちづくり 交流課	男女がともに、個々の生き方、能力、適性を考え固定的な性別役割分担にとらわれずに、主体的に進路を選択する能力や態度を身につけるよう推進する。	B (H28:B)

【公民館事業の充実と活性化】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
公民館事業の充実	○社会や地域の要請に適合したより質の高い公民館事業の展開		<ul style="list-style-type: none"> ・運動会などの体育事業、文化事業、講座等を工夫して実施しているが、いずれも参加者の減少傾向が続いている。小学校・保育園と合同の事業とするなど、地域の特色を生かし、地域としての一体感を醸成するよう事業を組み立てることが課題となっている。 	B (H28:B)
自主的な活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ◆自主的に活動する団体の育成・支援と人材の育成 ○学習機会や場の提供 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会育成事業を通して子どもの成長と単位育成会の活動のリーダーの育成を図る。 ・講座やサークル体験を開催し、サークルの立ち上げや会員増加の支援をしている。 ・公民館講座を受講した生徒が、継続して学習活動を続けていくよう自主サークルの設立を誘導しているが、インターネットの普及による情報の充実と学習需要の多様化によりサークル設立は困難になっている。 ・自主的に活動する団体からの相談や要 	C (H28:C)

		望等を聞き、支援を行っているが、高齢化等により会員が減少してきている団体が多い。	
地域コミュニティへの支援	○分館活動の支援と地域の一体感を醸成する取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館分館が地域活動の拠点として活用されるよう、コミュニティ振興対策事業として、地域の分館の整備、修繕等のための補助金を交付している。 ・分館事業補助金を交付し、活動を支援している。分館の事業も年々参加者が減少しているので、分館の活動と連携を取り、公民館事業を実施する必要がある。 	B (H28:B)

【図書館活動と読書活動の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
図書館サービスの拡充	<p>○誰もが利用しやすい図書館サービスの拡充</p> <p>◆図書館資料の充実と所蔵資料の広報</p>	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた本の企画展示や講座、イベントを開催し、子どもから大人まで利用していただけるようサービス向上に努めた。 ・大町図書館を中心に八坂・美麻図書館の運営を充実させ、誰もが身近なところで気軽に利用できるようにすることで、サービス向上と利用者拡大に努めたい。 ・市民やボランティア団体の要望を受けて、英語の読み聞かせ用の絵本やおすすめ本を購入した。保育園や幼稚園へ配本している本で古くなったものや汚れて破損したものなどを買い替えた。毎月、広報おおまちや大糸タイムス、有線放送で新着図書を紹介を行った。 <p>多様化・高度化している、市民からの幅</p>	B (H28:B)

			広い要望に対応するため、情報発信の拠点として、資料や情報を計画的、積極的に収集し、提供していく。	
読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者・障がい者の読書活動の推進 ◆大町市子ども読書活動推進計画の実施 ○読み聞かせ活動等の読書活動の推進 		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は高齢者施設での読書推進活動が実施できなかったため、来年度は積極的に推進したい。 ・大町市子ども読書活動推進計画によりブックスタート事業やセカンドブック事業、くまの子文庫を実施した。 ・読み聞かせボランティアの協力により、定期的に読み聞かせ会を行った。 	B (H28:A)
教育・文化施設やボランティアとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ○資料修理ボランティアの養成と活用 ○学校図書館、公民館、博物館等との連携の強化 		<ul style="list-style-type: none"> ・資料修理ボランティアの養成ができていないので、職員のスキルアップも含めて、目下の急務である。 ・子どもの一番身近な存在の学校図書館との協力連携を更に推進し、ネットワークを強化して、子どもが本に親しみ、読書活動が活発になるよう取り組む必要がある。 ・文化会館など共同企画を実施するとともに山岳博物館の資料を利用者が有効に活用できるシステムを構築する必要がある。 	C (H28:B)

【教育関係機関との連携】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
民間の社会教育施設の活用促進	○市内の博物館をはじめ民間の教育機能を有する施設との連携と協力、市民の学習活動への活用促進	生涯学習課	エネルギー博物館の運営支援を行い、市の大きな特色である水力発電と自然環境を柱とする郷土学習に活用している。	B (H28:C)

大学・研究機関等との連携	○大学・研究機関との連携による社会教育の充実	生涯学習課	図書館では信大図書館との連携が行われているが、その他の連携は行われていない状況である。	C (H28:C)
		山岳博物館	信州大学山岳科学研究所及び長野県環境保全研究所と連携協定を締結している。 平成26年度から平成28年度にかけて共同研究により鹿島槍カクネ里雪渓(氷河)調査を開始するなど、今後の社会教育に寄与すべく密接に連携している。	A (H28:A)

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H28 数値	課題等
公民館利用者数	96,311 人	106,000 人	生涯学習課	97,279 人	
公民館講座等開催数	647 回	650 回	生涯学習課	235 回	
公民館講座等受講者数	9,745 人	10,700 人	生涯学習課	5,589 人	
図書館の年間貸出冊数	197,780 冊	200,000 冊	生涯学習課	144,495 冊	人口減少・少子高齢化が進展する中で、読書人口も減少している。今後は、利用に関する統計データの分析、同程度の規模の図書館との利用データの比較分析、利用者アンケートなどを実施し、対策について検討する必要がある。
図書館の蔵書数	121,329 冊	145,000 冊	生涯学習課	145,146 冊	市民の調査研究、読書、生活や仕事上の課題解決に役立つ資料を収集すると共に、役割を終えた資料の除籍を行い、蔵書数の適正化を図る。また、職員の選書の専門性を向上させ、地域や利用者のニーズにあった資料を収集していく。

図書館の来館者数	46,992人	50,000人	生涯学習課	43,119人	人口減少や中高生の活字離れ、利用者の高齢化などにより、読書活動全体が低下傾向にある。利用者にとって魅力ある図書館にするために、市民と図書館について話す機会を多く持ちたい。
----------	---------	---------	-------	---------	---

□市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
公民館活動に満足していると思う市民の割合	75.6%	80.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
—	121101	男女共同参画費	まちづくり交流課
—	110412	社会教育総務一般経費	生涯学習課
—	110413	社会教育施設運営管理費	
エネルギー博物館管理運営費補助金	110414	エネルギー博物館運営費助成事業	
—	110416	生涯学習推進事業	
—	110415	公民館分館整備助成事業	
—	110433	大町公民館活動費	
—	110435	平公民館活動費	
—	110437	常盤公民館活動費	
—	110439	社公民館活動費	
—	1104311	八坂公民館活動費	
—	1104313	美麻公民館活動費	
—	110442	図書館施設整備事業	
—	110443	図書資料購入事業	

施策目標6 元気あふれる市民スポーツの振興

幼児期からの運動習慣は、大人になってからの身体活動に大きく影響することから、遊びを通じて運動習慣を身につけることが必要です。また、青年期から高齢者に至るまで、生涯学習としてのスポーツ活動は、生活習慣病の予防をはじめ、日常生活における心身の健康や仲間づくりなどにおいても有効です。

体力や年齢に応じたスポーツ活動を推進するため、スポーツ教室や体力づくりの機会の充実、各種スポーツ大会の誘致や交流大会の開催により、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上を図ります。また、老朽化した体育施設の整備充実を進めます。

【生涯スポーツの推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
健康、体力づくりの推進	○体力や年齢、目的に応じたスポーツ活動による健康、体力づくりができる機会と場所の提供	体 育 課	年長児を対象とした運動遊び教室、育児中のお母さんを対象としたママさんフリータイムなど小さな子どもから大人まで各年代に合わせた教室を開催。	B (H28:A)
スポーツグループの育成	○定期的、継続的に活動するスポーツグループの育成と支援		生涯スポーツの振興に総合型スポーツクラブの役割は重要であり、組織体制の整備が課題である。	B (H28:B)
スポーツに親しむ機会の充実	○各種スポーツ教室の開催 ○誰もが気軽に参加できる新しいスポーツの導入と普及		体育協会等の教室のほか、スポーツ推進委員会を中心に、様々な分野の教室を開催するとともにニュースポーツの教室、大会を開催するなど普及を図る。	A (H28:A)

【スポーツ団体の育成強化と競技技術の向上】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
組織の育成と技術力の向上	○体育協会、スポーツ少年団、スポーツクラブ、スポーツ指導委員会等との連携による各種スポーツ団体の組織強化と技術力の向上の促進	体 育 課	少子高齢化により競技者年齢の高齢化やスポーツをしない子供たちの増加など、体育協会やスポーツ少年団の組織力が低下している。財政支援を含め強化策が必要である。	B (H28:B)

指導力の強化	○スポーツ指導者の指導力の育成と指導力の強化及び一貫した指導体制確立への支援	競技者の年齢が高齢化し、指導者の確保が難しい状況にある。指導者の養成や資質向上が課題である。スポーツ推進委員の担う役割が重要となっている。	B (H28:B)
スポーツ大会の開催と交流の促進	○各種スポーツ大会・交流会の開催と誘致の推進	市民スポーツ祭をはじめ、少年少女球技大会など様々な大会を開催している。また、復興支援サッカー大会では被災地の女子サッカーチームを招待し開催している。 リオ五輪で奥原希望選手が活躍したことから、全国規模のバドミントン大会やバドミントン日本リーグの大会誘致を図る。	A (H28:A)

【体育施設の整備・改修】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
体育施設の充実	○老朽施設の整備・改修、設備・備品等の充実 ○体育施設に対するニーズの把握	体 育 課	施設の多くが老朽化により改修、修繕が必要となっている。利用者のニーズや利用状況を勘案しながら施設整備を行う。 冬期の運動施設として新たに屋内運動場を建設する。	B (H28:B)
体育施設の有効活用	○大学・企業等のチームの合宿誘致等による体育施設の有効活用		施設の有効活用と地域振興を図るため、合宿等の誘致に取り組んでいる。夏期の大学等の合宿には、利用希望日が重なるため、施設が不足している。	B (H28:B)

▼数値目標

目標項目	基準値	目標値	担当課	H28数値	課題等
体育施設利用者数	309,883人	320,000人	体育課	306,429人	競技人口の減
スポーツ教室参加者数	3,301人	3,500人	体育課	3,293人	市民に魅力的な教室の開催
スポーツ大会参加者数	12,496人	13,000人	体育課	9,510人	競技人口の減 市民への広報、情報提供 自治会等への参加依頼

□市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
スポーツの振興について満足していると思う市民の割合	72.0%	80.0%

◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
体育器具整備事業	110522	体育施設整備事業	体育課
屋内運動場整備事業			
山下体育館改修事業			